

# 令和4年第10回（10月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年10月27日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 厚狭地域交流センター 第1研修室

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功  
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也  
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育総務課長	浅 川 縁
学校教育課長	長 友 義 彦	埴生幼稚園園長	桶 谷 美 和
学校給食センター所長	和 田 英 樹	社会教育課長	船 林 康 則
中央図書館館長	山 本 安 彦	小学校長会会長	下 瀬 昌 巳
中学校校長会会長	山 本 時 弘	書 記	野 原 嵩 恵

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 議案第30号 学校運営協議会の委員の任命について (学校教育課)

② 報告第10号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について  
(中央図書館)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

---

## 開 会

### ○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、10月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。  
本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

---

## 会議録署名委員の指名

### ○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は砂川委員、末永委員よろしく願いいたします。

---

## 会議非公開の決定

### ○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」および「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思っております。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めてまいります。

---

## 各課・館業務の報告

### ○長谷川教育長

それでは、まずはお礼です。9月28日から学校訪問の後半の部がスタートし、残すところ11月4日の厚狭小学校を残すのみとなりました。年に1回の定期訪問ですが、市内全ての学校の教育活動を実際に見て、学校の成果と課題を共有し、学校と改善に向けた協議を行うことは必要なことだと考えています。ご多用の折、委員の皆様にはご負担をおかけしますが今後ともどうかよろしく願いいたします。

さて、私から数件ご報告させていただきます。9月25日(日)に理科大において市民大学解放デーが開催されました。それに合わせて市内小中学生の科学作品展が行われました。砂川委員もご参観ありがとうございました。コロナの流行で中止を余儀なくされていたこの催しですが、会場を理科大に移しての開催は初めてでした。これからこの催しが本市の子どもたちの科学の芽を育む特色ある行事として充実していけるよう教育委員会としましても大学と一緒に支援してまいりたいと考えています。

次に10月7日(金)に山陽小野田市青少年善行賞の授与を行いました。この度の受賞は交差点

の真ん中で倒れていた高齢者を小野田中、須恵小の児童生徒7名が協力し、適切な判断と勇気ある行動で命を救ったというものです。今年度3件目の表彰となりましたが、表彰式のたびに、子どもたちの優しい笑顔に触れることができ、とてもうれしく思っております。

次に10月11日（火）にありました、県市教育委員会協議会研修会についてです。この日は、竹田委員と岩国市立東小中学校を訪問し、施設一体型の新校舎の見学とそこで行われている小中一貫教育の現状を研修いたしました。この学校は令和2年に開校した新しい学校です。スタートして間もないので取組についてはこれからのところもありましたが、山口県の小中一貫教育をリードする役割を担う学校として期待しております。また、研修の中で岩国の家庭教育支援チームの取組も紹介され竹田委員もいい研修機会となったのではないかと思います。後ほど感想がありましたらお願いいたします。

次に10月12日（水）にありました県市町教育長意見交換会についてです。今年度は周南市立岐陽中学校で行われ、ICTを活用した授業参観の後、「ICTを効果的に活用した学習保障」についてと「次期山口県教育振興基本計画の策定に向けて」についてグループ協議を行いました。本市のICTを活用した授業実践は他市より進んでいると自負しておりましたが、岐陽中学校での授業を参観して、中学校での活用状況に目を見張るものがあり、負けてはおられないなと強い刺激を受けた次第です。「ICTを効果的に活用した学習保障について」は、オンラインによる授業配信の状況について意見交換を行いました。不登校の児童生徒に対する効果を期待していたところですが、なかなか難しい状況が報告されました。児童生徒とのつながりづくりにはなっているが学力保障にはなっていない現状があります。その他には、デジタル教科書の有効性についての報告があり、本市でも財政の許す範囲で積極的に導入を考えたいと思った次第です。

私からの報告は以上です。何かご質問等はございますか。よろしいですか。竹田委員、何か感想はございますか。

#### ○竹田委員

岩国市立東小中学校の施設は本当に立派で驚きました。9年間の指導計画で、滑らかな小中学校の接続を目指してというところは、これから本市も目指すべきところではないかと感じました。入学式も小中合同で行われており、校長先生がバトンタッチして祝辞を述べられるというような取組は新しいなと思いました。また縦割りの掃除班もあるそうで、面白い取組だなと。校舎は、中学生の動きが小学生も見えるつくりになっており、早くから自覚が芽生えていくのかなと。校舎のつくりも一貫教育がスムーズに行われるように設計されており、様々な事に取り組める環境というのはとても大事だなと感じました。本当に羨ましい限りの施設でした。ありがとうございました。

#### ○長谷川教育長

東小中学校は岩国駅のすぐ近くにある小中学校で、規模的にも3クラスずつあるような学校です。とかく一貫教育を進めている学校は、小規模の学校が多いですが、中規模の学校で一貫教育をこれからやっていくということで、注意深く見ていきたいなという気がしました。施設は、確かに立派です。これは基地のお金があり、単市でやっているわけではないので、本市とは比較にならないかなという感じです。プールも大きくて屋根が付いていて、夏場でも周りは熱くならないようなつくりでした。他にはよろしいですか。はい、砂川委員。

#### ○砂川委員

先程かがく博の事を教育長からありましたが、去年まではサンパークでかなりにぎやかに大勢で盛り上がった事業でした。今年はどうなるのかと思っていました。おそらく午前中にたくさん来ら

れたのではないかと思います。会場が理科大ということで、ものすごく広いため、たくさん人がいたところでそんなにたくさんいたようにも見えませんでした。今回は中学生の展示もあり、1階が小学生部分で2階が中学生部分となっていました。中学生にもなると、自分で考えたテーマでやっていたように感じました。例えば軟式野球と硬式野球のボールの違いがどこにあるのかというのを全部紐解いて、構造を確認し、それを発表して賞をとられおられました。やはり中学生になると面白いなど。

山口東京理科大学は市立なので、もう少し市立らしい、市民の理解度を高める取組を。我々医学関係でも薬剤師さんたちがとても努力して協力してくれています。そういうところを皆さんに見てもらえればと思いました。

○長谷川教育長

そうですね。よろしいですか。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

想定された以上の、かなりの人数が訪れられました。確かに会場が分散していて、今までは科学作品展と色々な科学体験ができるブースがヶ所々所で行われていたので賑わいがあったように感じましたが、それが大学内で点在している感じがあり、何がどこで行われているのかという案内も不案内で、回るのが難しかったという反省もありました。今後そういった点を改善されるように反省会をしっかりとやって、また来年度に結び付けられるように大学と連携してまいりたいと考えております。

ではよろしいでしょうか。それでは教育部長、よろしく願いいたします。

○藤山教育部長

私の方からは特にありません。

○長谷川教育長

それでは教育総務課長。

○浅川教育総務課長

教育総務課から3点報告させていただきます。

まず1点目は、厚狭中学校法面整備工事です。昨年厚狭中学校の東側の通路および法面が一部崩落しておりまして、法面直下の民家への将来的な被害の可能性を考慮しまして法面を整備し通路の補修工事をするものです。今月の11日から復旧工事を開始しておりますので、工事中は生徒に対する安全面について最大限配慮します。

2点目は寄附採納の報告です。別紙寄附採納一覧表をご覧ください。今回は小野田ライオンズクラブ様、山陽ライオンズクラブ様より寄附がございました。

次に3点目は共催後援の報告です。別紙共催後援の一覧をご覧ください。この一か月間に教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただけましたらと思います。

教育総務課からは以上です。

○長谷川教育長

ただ今の報告に何かご意見ご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは学校教育課長、お願いします。

○長友学校教育課長

学校教育課から報告いたします。

まず新型コロナウイルス感染症についてです。陽性者は10月第1週は小学校13人、中学校3人。第2週は小学校3人、中学校1人。第3週は小学校3人、中学校2人で終息の方向も見えてきたように感じておりましたが、今週は昨日までに小学校で13人、中学校で2人となっており、まだまだ予断を許さない状況にあると考えております。今週の土曜日には市内中学校で文化祭があります。生徒の体調管理を十分に行い、換気、人との距離、手指の消毒など感染対策を徹底したうえで実施されるものと思います。また11月上旬には小学校の学習発表会、中学校の音楽祭などが実施されます。こちらも新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、感染対策を徹底しながら実施に向けて準備をされているところです。

次に修学旅行・宿泊学習についてです。秋に予定されておりました小学校の修学旅行は10月27日本日から小野田小学校が長崎方面に行っております。この小野田小学校が最後となります。今年度の小学校と中学校の修学旅行は、春から秋へ延期された学校もありますが、県外へ出かける事もでき初期の目的を果たすことができたように思います。宿泊学習においても11月17日18日に山口市徳地で小野田小学校が実施いたしますが、予定されていた他の小学校はすでに実施済みです。

続いて学力向上についてです。山口県では4月と10月に小学校5年生から中学校3年生を対象として国語、算数・数学、中学2年生はこれらに加えて英語の確認問題を実施しております。この確認問題の実施を通して学力向上に関わる取組の検証・改善を進めています。10月に実施された確認問題は全教科1人1台端末を使って実施されました。こうした方法はComputer Based Testing、略して「CBT」と呼ばれます。今後CBTは全国学力学習状況調査をはじめ、高校や大学の入試においても採用されることが見込まれております。今回の調査の結果を受け、各学校ではこれまでの取組を検証し、取組を強化したり改善したりして、子ども達一人一人に確かな学力が身につくよう指導するとともに、教育委員会としましても支援を充実してまいりたいと考えております。

キャリア教育です。本市ではキャリア教育推進事業を実施しております。この事業は山陽小野田市の出身者や山陽小野田市で活躍されている方を講師として迎え、講演等を行うものです。高泊小・高千帆小・有帆小では小野田小学校出身で現在益田市で地域おこしに携わっている方を講師として迎え、講演会を実施しました。また中学校ではレノファ山口の選手を迎えて講演会を実施しております。中学校においては職業体験や職業講話なども計画的に実施されているところです。今後小学校4年生は「二分の一成人式」、中学校2年生は「立志式」が各学校で実施される予定です。今後様々な方を招いてキャリア教育を充実させていきたいと考えております。先程教育長が申しましたように9月25日（日）に山口東京理科大学で実施された市民大学開放デーに併せて科学作品展を実施しました。科学作品展には小学校643点、中学校959点が応募され、校内審査を経て、小学校125点、中学校49点が会場に展示されました。どれも力作ばかりでした。この中から市長賞は須恵小学校3年生、竜王中学校1年生が選ばれました。竜王中の生徒の「エアロゾル感染を防ごう」という研究では第66回日本学生科学賞山口県審査で入賞しております。その他教育長賞7点、山口東京理科大学学長賞1点、同じく理事長賞1点が選ばれ、同日会場で表彰式が行われました。児童生徒が科学への関心や好奇心を高めるとともに、大学の様子を知ってもらう一つの機会になったと思います。さらに先日は竜王中学校3年生が大学に行き、ほんものの科学体験講座を受けたほか、須恵小学校5年生は小野田工業高校の先生とメカトロ部の高校生の指導の下、プログラ

ミング学習を実施しております。高校や大学との連携を深め理科教育の充実に努めて参りたいと思います。

最後に就学時健康診断についてです。来年度入学する児童を対象として毎年この時期に就学時健康診断を実施しております。現在7校が終わり残り4校となりました。社会教育課と連携し、家庭教育支援チームが保護者と座談会を実施する等、子どもも保護者も安心して就学できるように取り組んでいます。

以上で学校教育課からの報告を終わります。

○長谷川教育長

ただ今の報告に何かご意見ご質問等はございますか。

タブレットを活用したテスト、CBTですが、各学校で戸惑い等はなかったですか。スムーズにできましたか。小学校はどうでしたか。

○下瀬小学校長会会長

小学校の方は、時間になったら画面に問題が表れて、時間になったら画面が消えるというものでした。8時50分からテストがありましたが、10分前からログインして、問題が入のを待っているという状態で、時間が来たら途中でも回答はできないように画面の問題が消えてしまいました。特徴的なのは画面が2つに分かれていて、問題を上で読みながら下で回答することになっておりました。分割しているのがそこが難しかったというのがありました。それと画面がタブレットの大きさなので拡大はできますが、字が小さかったり、算数については、計算ができないので、画面で計算している子もいましたが、白い紙やノートに計算して、答えが出たのを押していくという感じで、多少慣れないところがありました。タイピング等はそこまで影響はなかったのですが、「2つのうち1つを書きなさい」という、よく読まないといけない問題があったりして、両方書いていた子どももいました。この辺は少し慣れが必要かなというように感じました。

○長谷川教育長

回答欄と問題用紙の画面を分割で表示するのは、テクニックとかで出来るのですか。

○下瀬小学校長会会長

はい、できます。算数は最後、動画が出てきて、その動画を見て書き方の説明、どれがいいかの説明をしたり。本当にCBT、コンピューターならではのものが駆使されていました。一応全部問題等も見えて解いてみましたが、紙で見るのとは少し違います。

○長谷川教育長

なるほど。これは電子図書しっかり読まなければいけませんね。

○長谷川教育長

中学校はどうでしたか。

○山本中学校長会会長

中学校もやはり、紙面のテストでできることが画面ですので、できないことがありました。例えば問題文も長いのですが、大事なところに線を引いたりということもできない。少し難しい問題をとばした時に紙面だったらすぐに戻れるのですが、順番に戻っていついたり、そういったことに手間取っていました。記述の問題は、タイピングに慣れていない子とそうでない子とではやはり時間の差があったかなというのは感じました。

○長谷川教育長

やはり、しっかり活用しないと差が出ますね。

砂川先生。

#### ○砂川委員

実は就学時健診でだんだん感じてきているのは、並んでいるときに別の人が返事をして間違っ  
てはいけないから名前を言われた時に大きな声で『はい』と言って『なにになに君ですか』って聞いた  
ら『はい』って言ってください、と毎年必ずしています。でも最近の子ども達の声が小さくなって  
きたように感じます。大きい声を出す子が少なくなってきた。要するに全体的に自分を発信するこ  
とが少なくなってきたのか。ITの授業や、コロナで大きな声を出すなという教育も受け  
ているし、そういう理由もあるかなと思います。段々子どもの声が小さくなってきているかなと感  
じています。挨拶しても『はい』と一言も言わないこともあって。それが残念です。

#### ○長谷川教育長

今の返事というのは私も感じているところです。名前を呼ばれて『はい』となかなか言えない子  
どもが少し増えているのかなという感じがします。一度、市長さんがいらっしゃる表彰式で子ども  
達が呼ばれたのですが、返事をしなかったことがありました。空き時間を利用して子ども達を指導  
しましたが、「私はここにいますよ」「私は気付いていますよ」という意思表示をすることは大事  
なことだと思います。また学校でも話題にしてみてください。

先日埴生幼稚園を訪問して子ども達がしっかり自分の言葉で話している様子を見て安心しました。  
では埴生幼稚園園長、報告をお願いします。

#### ○桶谷埴生幼稚園園長

埴生幼稚園です。よろしく申し上げます。園の様子をお伝えします。

10月に入って満3歳児が1名、4歳児が1名の入園があり、現在15名となりました。満3歳  
児のお子さんは家庭保育から上がってきていますので、集団生活も初めてということで食事や排せ  
つ・着脱など生活面では丁寧に保育士がかかわり、ようやく慣れてきたところでございます。

次に運動会についてです。10月1日(土)にさわやかな秋晴れの下、欠席者無く全園児で参加  
することができました。様々な制約がある中で、子ども達の学びや活動を充実させたいという思い  
で職員や父母会と共に工夫を凝らしながらの運動会となりました。今年度は父母会の競技も行いま  
した。感染対策をしながらできる競技を考えて、みんなで楽しむことができました。

続いて教育後援会についてです。10月5日に父母会主催の教育後援会を行いました。県地域連  
携教育推進課の方の指導の下で「家族みんなで生活リズム向上“早寝・早起き・朝ごはん”」をテ  
ーマに研修が行われました。グループワークでは基本的な生活習慣について身に付けさせたい課題や  
悩みについて共有し合う姿がたくさん見られました。最後に学校計画訪問についてです。14日(金)  
に学校計画訪問が実施されました。教育長をはじめ教育委員さん、学校教育課の方々大変お世話に  
なりました。子ども達の様子や園舎、クラス保育の様子を参観していただいてご指導いただき、園  
運営、保育の振り返りの新たな学びの機会になりました。大変ありがとうございました。

それから先程よりあがっていますICTですが、保育園の方では登降園管理でICTが本年度か  
ら入っております。幼稚園に関しては少人数なので、私達が実際に子ども達を見て挨拶して登降園  
管理を行っています。子ども達の活用方法としては自然豊かな園でタブレットを活用して子ども  
達が自然物を撮ったりして、それを見て思ったことを子ども達が表現し、それを見た子ども達から  
また何かを発信できていくような使い方ができたらいいなと思いました。

埴生幼稚園からは以上でございます。

#### ○長谷川教育長

観察のスケッチも素敵でしたよ。他に何かありませんか。

それでは学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

学校給食センターです。よろしくお願いします。

今月20日に赤崎小学校の3年生が社会見学で学校給食センターに来られました。見学内容につきましては毎回同じようになりますが、屋内と屋外の2班に分かれてもらい、屋内では調理場と児童のいる研修室をオンラインでつなぎ、リアルタイムで調理風景を見てもらったり、また見学窓から調理室の見学、あとは調理作業の動画視聴などを行っていただきました。屋外では食材の納入口で調理員からの説明や、納入風景の見学、あとは給食センターの設備、衛生管理等についてクイズ形式で学んでいただきました。

なお、学校給食につきましては現在のところ、特段の支障もなく提供ができております。

学校給食センターからは以上です。

○長谷川教育長

給食センターからの報告に何かご質問等はございますか。

私から宿題です。一度教育委員さんとセンターの給食を試食したいと思っています。是非また日程調整等していただいて、ご協力願えたらと思います。教育委員さん、よろしいですか。

○和田学校給食センター所長

よろしくお願いします。

(「よろしくお願いします」の声あり)

○長谷川教育長

よろしくお願いします。

それでは次ぎ、社会教育課長お願いします。

○船林社会教育課長

それでは社会教育課からご報告いたします。

まず業務報告といたしまして、国の指定史跡であります浜五挺唐樋について、今後の保存と活用に関する計画を本年度から2年間で策定することとしておりますが、そのための第1回計画策定委員会を10月13日に開催し、この事業が実質的にスタートいたしました。委員会のメンバーは元梅光学院大学の先生や元奈良文化財研究所、神戸大学・山口大学・県文書館から考古・石垣・水環境・土木・文書の専門の学識経験者の方々とそれから地元浜自治会長の6名で構成しております。これから約1年半をかけて専門的知見をいただきながら計画を策定してまいります。なお第1回目の会議では計画案の全体の構成や点検、現地視察および調査を行いました。なおこの会議につきましては、教育委員会への議題としての報告案件ではございませんが、社会教育課の事業として大変重要な会議と位置づけておりまして、第1回目がスタートいたしましたので今回この場でご報告をさせていただきました。

続きまして就学時健康診断の子育て講座ですが、9月29日の本山小学校を皮切りに就学時健康診断が始まり、社会教育課としては家庭教育支援チームによる子育て講座を開始しました。各学校の家庭教育支援員により特に1年生に上がる時に注意しておきたいこと、注意して欲しいことについて講話や話し合いが行われます。また、社会教育課としては子どもの自己肯定感を高めるということについてお芝居を取り入れながら分かりやすく進めております。11月17日の赤崎小学校まで全小学校で行ってまいります。

続いて10月9日(日)に山口市におきまして地域伝統芸能の全国大会「日本の祭り in やまぐち」という行事が行われ、本市から厚狭の古式行事と小野田の龍王伝説が出場いたしました。古式行事は厚狭の町に古くから伝わる大名行列で、明治30年ごろには現在の形に近い形で行われているということです。今回は15名の奴が参加し、「とり返し」と呼ばれる道具を投げるシーンでは観客から大きな拍手をいただきました。また龍王伝説は平成13年の山口きらら博を契機に結成され、例年小野田小学校の児童が龍舞で参加しております。今回は小野田小の4年生から6年生まで24名の児童が参加いたしました。なおこの大会の様子が11月2日(水)の夕方5時からNHKのBSプレミアムで放送されるということでございます。

続きまして新聞記事からご紹介させていただきます。社会教育課の記事の裏面の方です。花壇コンクールです。今年度秋の花壇コンクールを開催いたしました。今回のコンクールから審査員さんの負担軽減のために審査方法を大きく変更いたしました。1次審査では写真と映像による審査、そして2次審査で現地審査を行い、受賞者を決定いたしました。そして10月14日にはその表彰式を行っております。今年は台風の影響等もあり花の管理が困難であったようですが、どの花壇も大変努力され熱心に管理されているのが伝わってきたとの講評をいただきました。受賞者の一覧につきましては、お手元に別紙、コンクール受賞者一覧をお付けしておりますのでご確認ください。

続きまして先程教育長にも紹介していただきましたが、10月7日(金)に青少年善行賞の表彰式を行いました。小野田中学校の1年の竹田星愛さん、古田花菜さん、松下颯良さん、井原綾音さん、永岡昊成さん、それと須恵小学校5年の永岡颯介さん、弘永大希さんに善行賞を送りました。善行の内容は下校中に交差点で高齢女性が倒れているのを発見し、この7人がそれぞれ臨機応変に役割分担して対応し、救助を行ったというものでございます。今回のケースのような他の模範となる青少年を積極的に表彰し、広く青少年の善行を奨励し青少年健全育成に努めて参りたいと思っております。

続きまして記事の中にございますが、「須恵防災講座」というのがございます。須恵地域交流センターにおいて防災講座が行われ、40名の住民が参加しました。日本防災士会の先生から「女性の声をもっと防災に」というテーマでご講演いただきました。9月は防災月間でございます、各センターでこのような防災講座が開催されました。現在各センターでは地域課題を意識した講座が開催されており、人づくり地域づくりを意識した事業を推進しております。

続きまして子ども会連絡協議会の「建干し網漁体験」というのがあると思いますが、子ども会連絡協議会としては2年間大きな活動ができておりませんでした。ようやく待ちに待った親子対象のイベントができました。今回の行事は親子の活動を渴望している子ども会の関係者の方、それから地域の活性化を望んでいる地域住民、それから漁業の衰退を危惧する漁協関係者、それぞれの課題解決につながるものとなったと考えております。

最後にきらら交流館まつり、竜王山ウォークの記事が出ておりますが、こちらも2年間開催されておりましたが、きらら交流館休館前の大きな行事として交流館まつりを行い、また同日に竜王山ウォークも開催されました。交流館まつりにおいては青少年育成協議会のメンバーによって切り絵体験も行われ、終日たくさんのお客様で賑わいました。

以上で社会教育課からの報告を終わります。

○長谷川教育長

ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

竹田委員。

○竹田委員

花壇コンクールについてです。以前から色々と意見を申し上げていましたが、今回埴生小学校特別賞で、土の改良、その辺りの地道な努力を認められた特別賞はとて素晴らしいなと思いました。ありがとうございます。以上です。

○長谷川教育長

学校訪問の時に花壇の土が良くなって花も元気になっているのを感じました。他に何かありますか。よろしいですか。

それでは図書館長、よろしくをお願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

図書館からご報告申し上げます。

10月・11月の行事予定をご覧いただけたらと思います。例年11月は行事が多いのですが、今年度も行事が多くなっております。10月29日、今度の土曜日ですが、「サイエンス・カフェ」を開催いたします。講師は、山口東京理科大学薬学部講師の堀口道子さんで、「生活リズムを整えて病気を予防」というテーマでお話をいただきます。このテーマについては人気があり、通常は第1会議室で行いますが、今回は視聴覚ホールで行うことになりました。11月5日は「古本朝市」を行います。12日（土）は、初めての試みで「図書館でオープンマイク」というのを開催いたします。これは5分ほどの時間で自分を表現しようという、詩の朗読であったり歌であったり、ダンスであったりという表現を通してそれを楽しもうというものです。そして13日（日）は「図書館フェスティバルプレイベント」として「手嶋沙織さんのピアノリサイタル」を開催します。20日（日）は「持ち寄り本カフェ」と「wakayama読書部」がコラボして「推し本ライブ」というのをを行います。「持ち寄り本カフェ」というのは毎月中央図書館で行っていますが、wakayama読書部というのはwakayamaというお店で、2カ月に1回読書会が開かれています。その会とのコラボで本を紹介しようという試みです。そして27日がフェスティバルの本番になります。このフェスティバルの中で目新しい事がいくつかございますが、厚狭高校の被服科作品展示をすることにしております。

「電子図書館利用統計」を今回、資料として付けております。ご覧になっていただけたらと思います。9月末時点で登録者が約600名ということで、買い出し点数累計が3,509点となっております。

図書館からは以上です。

○長谷川教育長

ただ今の報告に何かご意見ご質問等はございますか。

この「オープンマイク」という取組ですが、もう手を挙げておられる方は何人かいらっしゃいますか。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

何人かいらっしゃいます。これは山口市で定期的に行っているものです。詩人の方が中心に進められています。今回その詩人の方に来ていただいて、リードしていただきながらこのオープンマイクというのを進めていこうとしています。高校の演劇部にも声をかけて進めることができ

ればと考えております。

○長谷川教育長

よろしいですか。

それでは小学校長会会長、お願いします。

○下瀬小学校長会会長

小学校長会から3点ほどご報告いたします。

1点目は教育活動の充実についてです。10月になり、初旬中旬では感染者は減少しておりましたが、今週に入り本校では少し増加傾向にあります。ただ学校の教育活動については対策をしつつ、昨年度より多様な活動を実施しています。参観日や地域人材の活用、専門家を招いた出前授業、それから市役所の各部局からの子ども市民教育、県の出前講座、コロナ前とは言いませんが、「withコロナ」として感染症対策をしながら実施しております。本校では本日、県教委の学校安全・体育課の出前授業「望ましい生活習慣の定着に向けた家庭の意識向上」を6年生と保護者が受け、午後、5年生の家庭科では地域のミシンボランティア「ソーイング」が学校支援に10名程度来校され、5年のミシン授業を支援されています。小学校では来月1週目の土曜日に学習発表会・参観日を予定している学校が多くあります。現在はそのための準備を行っておりますが、総合的な学習の時間や生活の時間でタブレットを活用してスライド作り、ロイロノートで編集してふるさとの発見や環境学習等の発表の準備を、今やっているところです。

2点目ですが、学力向上に関することで、学力状況確認問題のCBTです。6年生が10月19日、5年生が10月26日に確認問題をしました。初めての試みでしたので大変緊張しておりましたが、タブレットを活用して時間になると問題が表示され、時間が来ると画面が閉じる、というシステムで、即時に回答状況も確認することができました。ただ、上下に分かれた画面や、画面の文字を見ること、メモや計算等を別の紙にするなど少し慣れないところがありますので、今後これについても対応していきたいと思っております。

3点目は先程学校教育課長さんのお話にもございましたが、キャリア教育の推進についてです。中学校区でキャリア教育推進事業を実施するために、高千帆中学校区の小学校3校は島根県益田市在住の山陽小野田市立小野田小学校出身の檜垣健一さんに6年生を対象に、自分の生き方を考える未来づくりプログラムのお話をさせていただきました。自分自身のNPOの語り場の経験とか、郷土を大切に思う気持ち、益田市で地域活動をして地域の方と触れ合うなど、自分自身の生き方を紹介させていただきました。本校6年生は「お店が多くて憧れる都会に住むことが幸せとは限らず、自分の幸せのものさしをたくさん持ちたい」、「たくさんのお会いや支えがあって暮らす地方、田舎の良さが分かって、田舎でも自分の夢を叶えることができる、あるいは叶えたい」などと話していました。

以上です。

○長谷川教育長

小学校からの報告に何かご質問等はございますか。

私も講師の檜垣さんのお話を聞きましたが、とても刺激になった講演でした。地域づくり、どこも少ない人数になってきていますが、そんな中でも心豊かに生きていく取組が色々紹介されて良かったと思いました。

それでは中学校長会会長、お願いします。

○山本中学校長会会長

中学校から3点ご報告申し上げます。

1点目は、山口県学力定着状況確認問題CBTの実施についてです。2年生が今月17日の週に、翌週に1年生が実施しております。2年生が国語・数学・英語、1年生が国語・数学です。タブレット端末を活用した試験となっており、問題用紙を印刷・配付することなく、採点も確認が必要となりますが、電算処理されます。試験の準備・処理に係る負担が大変軽減されております。子ども達もまだ慣れない問題があって、実力が発揮できていればなと願っております。実は採点の結果もすぐに出ていますが、十分に力を発揮できなかった子どももいるようです。やはりタイピングの練習も必要なのかなというのが、中学校の方では確認したところです。今後データをきちんと確認し分析して、今後の教育活動に反映していく事が必要と考えております。全学調の結果と併せて学力状況を吟味、認識して改善サイクルを回していきたいと考えています。

キャリア教育推進事業の事がありました。本校11月15、16日に職場体験学習を、2年間できませんでしたが、今年実施予定です。6中学全部実施予定です。本校では、市内を中心とした70事業所をお願いが通っておりまして、実施する予定です。

2点目はこの29日(土)に市内中学校が一斉に実施する文化祭についてです。多くの学校が今月初めから教職員の支援の下、生徒が主体的に工夫を凝らしながら準備を進めています。コロナの感染者が減少傾向にありますが、本校では今年も感染症対策に万全を期するため、無観客で行います。本校の場合489名おります関係で全校生徒を入れるのにフロアとギャラリーを使います。保護者が入るスペースがないため、一昨年来同様にライブ配信を計画するとともに、業者による撮影、DVD販売も予定しています。どの学校も体育館でしっかり換気をした上での実施を計画しています。開催日の天候が晴れることを祈っています。

3点目は、山口県教育会が毎年、小・中・高校生を対象に開催している「わたしの志」作文のコンクールで、市内中学2年生の女子生徒が最優秀「山口県教育委員会教育長賞」を受賞しています。また、佳作に同じく2年生の女子生徒が入賞しています。最優秀の生徒は、文化祭当日29日、第49回教育県民大会岩国大会で県教育長から表彰を受け、同会場でただ一人、作文を朗読することとなっています。

中学校からは以上です。

#### ○長谷川教育長

先程中学生とありましたが、高千帆中学校です。

前後しましたが、歴史民俗資料館の報告を社会教育課長、よろしく申し上げます。

#### ○船林社会教育課長

歴史民俗資料館の館長がお休みでございますが、配布資料をご確認いただけたらと思います。

企画展「発掘された山口巡回展」が10月15日から今現在、開催されております。スタートの10月15日には記念講演会とギャラリートークを行いまして、たくさんの方にお越しいただきました。それから出前講座が9月28日と10月6日に小学校で行っております。歴民への見学についても10月19日と10月20日に3校からお越しになっていて、学校との記念見学も進んでおります。

続きまして次のページ、体験教室の埴輪作り。今回は9月30日(金)の平日に行いまして、大人向け企画として行いまして、これもたくさんの方がいらっしやって、とても集中して作っていただいたと聞いております。

今後の予定ですが、10月以降も行事を行います。大きなものは11月8日出前講座、「窯の

まち」ということについて出前講座を行うことにしております。そして11月26日からは企画展「窯のまち」をスタートする予定にしております。令和5年2月7日まで、長期にわたって行います。

簡単ですが、以上で終わります。

○長谷川教育長

これは報告のみでよろしいですか。

では、以上で全ての報告が終わりました。

---

#### 次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回の会議日程について、教育総務課長、よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

11月の定例会議の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは11月17日木曜日、午後2時から高千帆地域交流センターで行う案でお諮りします。

○長谷川教育長

ただ今の提案でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それでは11月17日木曜日に高千帆地域交流センターということでよろしく願いいたします。

以上で前半を終了いたします。どうもお疲れさまでした。

---

14時57分休憩

14時58分再開

---

#### 議案第30号 学校運営協議会の委員の任命について

○長谷川教育長

それでは議事に移ります。議案第30号「学校運営協議会の委員の任命について」、学校教育課長、申し上げます。

○長友学校教育課長

議案第30号についてご説明いたします。埴生中学校学校運営協議会委員、大下憲子様の退任に伴い、山陽小野田市学校運営協議会規則第3条の規定に基づき、田村啓祐様を教育長及び埴生中学校長から新たに学校運営協議会委員に任命することについてご審議をお願いしたいと思います。なお、山陽小野田市学校運営協議会規則第4条により任期は令和4年10月27日から令和6年3月31日までとなります。以上で説明を終わります。

○長谷川教育長

ただ今の説明に何かご質問等がございますか。よろしいですか。それでは採決を行います。議案第30号「学校運営協議会の委員の任命について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

賛成多数と認めます。よって議案第30号は可決されました。

---

報告第10号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について

○長谷川教育長

次に報告第10号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について」、報告をお願いいたします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

報告第10号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について」ご報告申し上げます。今月の7日、午後2時から山陽小野田市立中央図書館で検討委員会を開催いたしました。出席者は全員出席で、そのうち理科大の細井委員はリモートでの参加でした。会議の内容ですが、こちらで用意した第一次素案について私の方から資料説明させていただき、内容について各委員からご質問や感想が寄せられました。幼稚園・保育園から幼児がスマートフォンを使うようになっていて、また保護者もよく使っていて、それへの懸念というのがありました。やはり紙媒体への重要性というのを感じられるというのがあるって、第一素案の中にもその事が書いてありますが、それへのサインが発言としてありました。学校図書館と市立図書館がデータベースを一本化するということについての質問がありました。理科大との連携で、本市の特色ある活動ということで科学を柱とした子ども読書活動推進というのを柱として掲げておりますので、それへの意見が聞かれました。他にもいくつか委員から出されましたが、あとは記録の方をご覧いただけたらと思います。図書館からは以上でございます。

○長谷川教育長

ただ今の報告に何かご意見ご質問等ございましたらお願いします。

よろしいですか。では採決いたします。報告第10号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

賛成多数と認めます。よって報告第10号は承認されました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長谷川教育長

(3) その他についてですが、何かございますか。事務局よろしいですか。

閉 会

○長谷川教育長

それでは本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。  
皆様、お疲れさまでした。

15時07分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名または記名押印する。

令和4年10月27日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印